

開催概要

ガートナー データ & アナリティクス サミット 2018

会期：2018年6月14日(木)・15日(金)

会場：東京コンファレンスセンター・品川
JR品川駅港南口(東口)徒歩約2分

主催：ガートナー ジャパン株式会社

後援：一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS)
特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会 (ITCA)

参加料金(1名様)

早期割引価格：99,000円(税別)
2018年5月2日(水)まで

通常価格：110,000円(税別)
2018年5月3日(木)～2018年6月13日(水)まで

グループ登録特典

- 4for3** 同時に4名様ご登録で、1名様分無料になります。
- 7for5** 同時に7名様ご登録で、2名様分無料になります。
- 10for7** 同時に10名様ご登録で、3名様分無料になります。

参加登録受付中

2018年5月2日まで早期割引価格にて
お申込みいただけます。



参加対象者

- アナリティクス・リーダー**
 - 最高アナリティクス責任者
 - アナリティクスおよびBIの実務担当者
 - アナリスト
 - データサイエンティスト
- アーキテクト**
 - 情報アーキテクト
 - アナリティクスおよびBIのアーキテクト
 - エンタプライズ・アーキテクト
 - アプリケーション・アーキテクト/マネージャー
- 情報活用およびMDM**
 - 最高データ責任者
 - MDMプログラム・マネージャー
 - データ・スチュワードおよびガバナンス委員会
 - データベース、統合、インフラストラクチャ担当マネージャー
- ビジネス・リーダー/チーム**
 - マーケティング・エグゼクティブ
 - 財務エグゼクティブ
 - サプライチェーン・エグゼクティブ
 - ビジネス・アナリスト
 - データ・アナリスト

©2018 Gartner, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved. Gartner is a registered trademark of Gartner, Inc. or its affiliates.
For more information, email info@gartner.com or visit gartner.com.

ガートナー データ & アナリティクス サミット 2018

2018年6月14日(木)・15日(金)
東京コンファレンスセンター・品川
gartner.co.jp/event/data/



コンファレンス・チェア
一志 達也

お申込み方法

gartner.co.jp/event/data/
からお申込みください。若しくは、
貴社担当営業へお申し付けください。

- お申込み確認後、登録事務局より請求書を
発送いたします。
- お支払い方法、キャンセル規定の詳細は、
Webサイトにてご確認ください。



カーリー・アイディーン
リサーチ ディレクター

参加特典

ガートナー・アナリストとの
One-on-Oneミーティング
(事前登録制)



お問い合わせ先

ガートナー ジャパン株式会社
サミット登録事務局

受付時間:10:00～12:00 / 13:00～17:00
(土・日・祝日を除く)

Tel : 03-6430-1810
Fax : 03-6430-1927
Email : japan.events@gartner.com



データとアナリティクスによる
ビジネス価値の創造と拡大



2018年3月版

データとアナリティクスによる ビジネス価値の創造と拡大


Scale the Value of Data and Analytics


データとアナリティクスは、デジタル革命の要として、あらゆる業界で不可欠なものとなっています。


デジタル時代を生き抜き、成功を収めるために、今こそデータとアナリティクスをビジネスの中心に据えて、すべての従業員、顧客、サプライヤー、パートナーなど外部へも広げていかなければなりません。データとアナリティクスの有用性を広めるためには、組織内に「データを活用する文化」を醸成する必要があります。つまり、データとアナリティクスから情報を得て、ビジネス目標、業務の効率化、イノベーションを推進するという意識を根付かせていかなければならないのです。


ガートナー データ & アナリティクス サミット 2018では、信頼のおけるデータ、頼れるアナリティクス、それらによって得られた知見から下す大胆な意志決定によって、貴社の未来を切り開くための様々なコンテンツをご提供いたします。ぜひ本サミットにご参加ください。


本サミットで学べること


 データの品質管理、セキュリティ、プライバシー、ガバナンスの整備を通じて、ビジネスにおける信頼の基礎を築く


 デジタル変革を支える新しいアーキテクチャやアプローチを採用して、インフラストラクチャの近代化を進める


 あらゆる人材/行動/ビジネス・プロセス/意思決定に、アナリティクスを組み入れ、自社の文化として根付かせる

 ビジネスモデルを革新するために、多様なデータセット/チーム/思考を活用する

 既成概念にとらわれることなく、世界に誇ることができるデータとアナリティクスの戦略を練り上げて実行する

 企業文化、人材、スキル、組織に対してのリーダーシップを発揮し、目的の達成を実現する

 AI、機械学習、ブロックチェーン、仮想現実/拡張現実、IoT、デジタル・ツインなどの先進テクノロジーを活用してイノベーションを推進する

 新しいスキル、CDO(最高データ責任者)等の新しい役割、新しい働き方、新しいデータ主導型思考の採用を加速する



ガートナー基調講演

 日英同時通訳付



テッド・フリードマン
バイス プレジデント 兼
最上級アナリスト

GK1. オープニング基調講演 データとアナリティクスの価値を拡張する



根本的な変化が起こっている。BIからAIへ、一般消費者への情報提供からビジネス・モーメントの実現化へ、そして「自社の」データから「すべての」データへの変化である。

データとアナリティクスはニーズが広がり、ビジネスモデル、公的サービス、個人生活のあらゆる側面で要になりつつある。他の資産と違い、データの価値は消費しても減らない。また、データは多くの目的で使うことができ、また実際にそうすべきである。



カーリー・アイディーン
リサーチ ディレクター

われわれには、データ基盤を創造的に拡大し、アナリティクスを使った発見を加速できる、かつてない機会と責任がある。データとアナリティクスのリーダーは、こうした偉業を成し遂げるために、上記の拡張における4つの側面「多様性」「リテラシ」「複雑性」「信頼性」を習得する必要がある。

トラック

トラック別のセッション情報はP9-P11をご覧ください。

STRATEGY ビジネス成果と戦略

今こそデータとアナリティクスの取り組みをビジネスの中心に据えて、社員、顧客、サプライヤー、パートナーなど、すべての関係者へと広げるときです。

本トラックでは、いかにしてデータとアナリティクスの戦略を開発し、組織の全域でビジネス価値を得られるよう実行していくのか、どのようにして具体的なビジネスの成果に結び付けていくのかを論じます。

TECHNOLOGY テクノロジー&アーキテクチャ

自社のポートフォリオに新たなアーキテクチャのアプローチや新しいテクノロジーを追加するための方法を、無数に存在する選択肢の中から理解して選ぶことは容易ではありません。

本トラックでは、いかにして自社のアーキテクチャと技術のエコシステムを発展させ、デジタル・ビジネスの時代に則したものとするかを論じます。

LEADERSHIP リーダーシップ&ガバナンス

デジタル変革において、データとアナリティクスのあらゆる面でリーダーシップを発揮することが、ますます重要となってきています。同時に、信頼の置けるデータ基盤を支えるガバナンスの取り組みも重要となっています。

本トラックでは、いかにしてデータとアナリティクスを生かせる組織をつくり上げていくのか、いかにして必要なスキルを備えた人材を育て、最適なポジションへと配属していくのか、そのための強力なリーダーシップとガバナンスはどうあるべきかについて論じます。

担当アナリスト

コンファレンス・チェア
一志 達也
Tatsuya Ichishi
主席アナリスト



- データベース製品に関する製品動向調査および製品選定におけるアドバイス
- データ統合、データ品質管理、マスターデータ・マネージメント環境の構築・導入・利用に関するアドバイス

足立 祐子
Yuko Adachi
バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト



- IT人材育成
- ソーシング戦略
- グローバル・ソーシング動向

ダグラス・レイニー
Douglas Laney
バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト



- アナリティクスとBI戦略
- デジタル・ビジネスの構築と拡大
- データ・ガバナンスと、最高データ責任者(CDO)の役割
- インフォニクス
- 情報の価値と収益化
- アナリティクスのセンター・オブ・エクセレンス
- オープン・データ、シンジケート・データ

亦賀 忠明
Tadaaki Mataga
バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト



- スマート・マシン、ロボット、人工知能的なもの
- 先端テクノロジー、未来志向
- クラウド・コンピューティング
- メインフレーム、スーパーコンピュータ (HPC)
- ITインフラストラクチャ・リーダー、戦略
- 未来志向型テクノロジー人材と投資

マーク・ベイヤー
Mark A. Beyer
バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト



- 情報/データ・アーキテクチャ
- データ統合のプラクティス/テクノロジー
- データウェアハウス、データ・レイク、ODSプラクティス/テクノロジー
- 保険、公益事業、医療、教育のためのデータ
- メタデータの管理と活用

マリオ・ファリア
Mario Faria
マネージング バイス プレジデント



- CDO(最高データ責任者)/CAO(最高アナリティクス責任者)/最高デジタル責任者の役割
- データ/アナリティクスのビジネス価値
- データ戦略、データ収益化、データ価格設定モデル
- BI、アナリティクス、データ・サイエンス、アルゴリズム

松本 良之
Yoshi Matsumoto
バイス プレジデント



- CIOの役割、CEOとCIOの関係構築、デジタル化によるビジネス革新、IT組織改革、IT戦略、ITグローバル化、M&A後の組織統合と分割

マイク・ローリングス
Mike Rollings
バイス プレジデント



- デジタル・ビジネス戦略、データ/アナリティクス戦略
- 組織の改革と変革、データ主導型の企業文化、データ/アナリティクス組織
- データ・ガバナンス、ITガバナンス
- データ/アナリティクス・リーダー、情報イノベーション、データのユースケース

テッド・フリードマン
Ted Friedman
バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト



- データ管理戦略
- データ/アナリティクス・リーダー
- 企業情報管理(EIM)戦略
- 情報/データ・ガバナンス
- モノのインターネットにおける情報管理の意義
- データ品質(ベスト・プラクティス、組織的アプローチ、ツール、ベンダー)
- データ統合(ツール、ベンダー、アーキテクチャ、ベスト・プラクティス)

リック・グリーンウォルド
Rick Greenwald
リサーチ ディレクター



- データ/アナリティクス・プログラム
- クラウド・コンピューティング
- データ/アナリティクス・リーダー
- データベース
- 高可用性
- データウェアハウス

サイモン・ジェームズ・ウォーカー
Simon James Walker
主席アナリスト



- データ管理戦略
- プライバシー管理プログラム
- デジタル・コマース・テクノロジー
- マスターデータ管理(MDM) & 製品情報管理(PIM)のベンダーとツールの評価
- マスターデータ管理(MDM)/PIMのビジネスケースの策定
- MDMの開発、データ・スチュワードシップ/データ・ガバナンス戦略、実装

各アナリストのプロフィールはWebサイトをご覧ください。

堀内 秀明
Hideaki Horiuchi
マネージング バイス プレジデント



- データの分析・活用に関するベスト・プラクティス
- BIシステム構築・導入・利用に関するアドバイス
- データベース製品に関する製品動向調査および製品選定におけるアドバイス

カーリー・アイディーン
Carlie J. Idoine
リサーチ ディレクター



- アナリティクスとBI戦略
- データ/アナリティクス・プログラム
- データ管理戦略
- 処方的アナリティクス/予測的アナリティクス
- 機械学習
- セルフサービス
- 市民データ・サイエンティスト

One-on-Oneミーティング ご参加特典

お客様個別の課題に対して、ガートナーのアナリストがお答えする「1対1」型のミーティングです。
『お客様が抱える問題』、『海外の先進事例』など、アナリストとの対話を通じてお客様の課題解決のヒントを得てください。海外アナリストとのミーティングにはご希望により通訳が同席いたします。



- 1回30分の個別ミーティングです。お一人様2回までご参加いただけます。
- ミーティングはトピックのご指定だけでも行えます。最適なアナリストとのミーティングをアレンジさせていただきます。
- ミーティングの時間枠は限られていますので、早めのご予約をお勧めします。

ガートナー CDO サークルでは、データ・エグゼクティブにフォーカスしたセッションやコミュニティを提供いたします。

参加条件

売上高250億円以上の企業のCDO(チーフ データ オフィサー)、CAO(チーフ アナリティクス オフィサー)、若しくは企業・組織におけるデータ&アナリティクス業務の最高責任者及び予算の意思決定者。

※ITベンダー企業については、社内向けのデータ&アナリティクス業務における最高責任者若しくは予算の意思決定者に限ります。

お申し込み方法： 貴社担当営業へお申し付けください。

参加特典

1. 下記の特別セッションにご参加いただけます。CDOサークルメンバー限定の少人数制セッションです。

2. 専用ラウンジをご利用いただけます。

ご休憩やメンバー同士の情報交換やネットワーク作りをしていただくためのスペースです。

【ラウンジ ご利用可能な時間】 6月14日(木) 11:15-18:00 6月15日(金) 11:15-17:30

データ・エグゼクティブとは

最高データ責任者(CDO)、最高アナリティクス責任者(CAO)、最高デジタル責任者などの新しいポジションのほか、データ/アナリティクスを担う従来のITリーダー職や、マーケティング、リスク管理、コンプライアンス、生産、財務といった組織でビッグ・データ・アナリティクスを活用しようとしている多くのビジネス職が該当します。

CDOサークルメンバー限定セッション

CDOC1. 6月14日(木) 12:20-13:20

【ラウンドテーブル】

**CDOの役割とは何か、
データとアナリティクスの価値を最大化するには** (逐次通訳)

3回目となるガートナーの年間サーベイによると、全世界で最高データ責任者(CDO)の数は爆発的に増加し、CDOがデジタル・ビジネス変革の要であることが証明されつつある。

CDOサークル主催の本ラウンドテーブルでは、CDOの役割とは何か、その任務にどのように着手すべきか、データとアナリティクスのリーダーをどう育成すべきか、ビジネス価値をもたらす戦略とは何かをテーマに、ユーザー間でディスカッションを行う。



マリオ・ファリア
マネージング
バイス プレジデント



マイク・ローリングス
バイス プレジデント

What's new for 2018!



State of Sessions ガートナー・ステート・オブ・セッション

データ&アナリティクスに関する現時点におけるガートナーとしての見解を解説するセッションです。



11B. データ管理の動向: データの収集と接続のバランスを取る

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト マーク・ベイヤー P.10



22C. データとアナリティクスの役割と組織の今 ～ コントロールからコラボレーションへ～

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト ダグラス・レイニー P.11



27A. BIとアナリティクスの動向: 洞察の自動生成へ

リサーチ ディレクター カーリー・アイディーン P.9



Essentials ガートナー・エッセンシャルズ・セッション

データ&アナリティクスに関与するプロフェッショナルにとって非常に重要なコアトピックを解説するセッションです。



15A. データとアナリティクスの戦略における本質的な要素

バイス プレジデント マイク・ローリングス P.9

What's new for 2018!

Ask the Analyst / アナリスト / ユーザー ラウンドテーブル (AUR)

アナリストとの対話や参加者同士のディスカッションでベスト・プラクティスを共有ください。

Ask the Analyst

参加者とアナリストによるQ&Aセッションです。トピックに関する様々な質問にアナリストが直接回答します。

※お席に限りがございますので早めにご登録をお願いいたします。



バイス プレジデント
松本 良之

22ASK. 6月15日(金) 11:30-12:15
**経営トップやCIOを動かす経営ダッシュボードとデータ分析の中身は何か
～ グローバル企業の事例からの学び ～**

データ集計や分析の結果を経営ダッシュボード化しても、経営トップやCIOから「分かりにくい」「何を見て判断したらよいか不明」という不満の声が上がる。本セッションでは、KGI、KPIの選び方、そして経営層への見せ方について、ガートナーのCIOアナリストが質問を受けながら、ディスカッション形式で進めていく。
(注:ご参加に際しましては、アナリストへの質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方



アナリスト / ユーザー ラウンドテーブル (AUR)

特定のテーマについて参加者同士で意見交換を行うセッションです。 ※お席に限りがございますので早めにご登録をお願いいたします。



バイス プレジデント 兼
最上級アナリスト
亦賀 忠明

15AUR. 6月14日(木) 16:25-17:25
AIのリアリティを探る

人工知能 (AI) は、ハイプの頂点にある。多くの日本企業は既にAIに関する概念実証 (POC) を実施したものの、多くの人々は、引き続きテクノロジー、ベンダー、ビジネス・インパクトやAIエンジニアを探している。本ラウンドテーブルは、アナリストがファシリテートすることで参加者の相互の会話の機会を提供し、AIのリアリティについて議論する。

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方



バイス プレジデント 兼
最上級アナリスト
足立 祐子

25AUR. 6月15日(金) 15:30-16:30
データ・サイエンス・チームの立ち上げ前に知っておくべきこと

一時期の熱狂は過ぎ去ったとはいえ、経営層のデータ・サイエンスに対する関心は依然として高い。組織化を指示されたITリーダーにとって最初の難題は、どのような人材をそろえ、どのようなチームをつくるかという点である。本ラウンドテーブルでは、これからデータ・サイエンスに取り組むITリーダーを対象に、スキル調達を軸としたチーム編成の選択肢を提示し、議論する。

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方

ガートナー セッション

日英同時通訳付

STRATEGY ビジネス成果と戦略

11A 6月14日(木) 12:30-13:15 (45min)

AIトレンド2018

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト 亦賀 忠明

AIは、企業のデジタル化にとって重要なコア・テクノロジーであるが、いまだに多くの誤解や神話が見られ、混乱が続いている。本セッションでは、AIに関する主要なトレンドを整理し、日本のユーザー企業への推奨を行う。

13A 6月14日(木) 14:30-15:15 (45min)

インフォミクスの適用:「資産としての情報」を収益化、管理、測定する方法

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト ダグラス・レイニー

情報の価値を知らなければ、情報管理に何を投資すべきか知る由もない。資産としての情報に合わせて従来の資産管理の慣行を変えるにはどうすればよいか。自社の(そして他社の)情報から経済的なメリットを引き出すにはどうすればよいか。先進組織にとって、答えは「インフォミクス」である。

15A 6月14日(木) 16:30-17:15 (45min)

Essentials

データとアナリティクスの戦略における本質的な要素

バイス プレジデント マイク・ローリングス

デジタル・ビジネスは、データとアナリティクスの戦略に対して、「ビジネスの変革を引き起こす」存在となることを求めている。しかし、その多くは不十分で、予測的アナリティクスや人工知能といった高度なテクノロジーから、戦局を変え得る機会を得るには至っていない。本セッションでは、現代のデータとアナリティクスの戦略における本質的な要素、戦略の策定範囲を広げる方法、間近に迫る最新アプローチについて解説する。

22A 6月15日(金) 11:30-12:15 (45min)

データとアナリティクスの戦略を考察する:
データ主導型の戦略と企業文化の融合

バイス プレジデント マイク・ローリングス

われわれは常に、戦略とはトップダウンで合理的に行うプランニング作業であり、企業文化とは捉えどころのない無形のものであると考えてきた。しかし、不確実な環境下でデータ主導型の組織を展開するためには、戦略と企業文化の両方の視点を融合させなければならない。戦略と企業文化は、唯一の「進むべき道のり」(毎日の行動)になる。データ主導型の戦略を立案し、企業文化を醸成するにはどうすればよいだろうか。

23A 6月15日(金) 13:30-14:15 (45min)

ビジネス価値に基づいたコミュニケーション:
「データ」を「成果」へと結び付けるには

マネージング バイス プレジデント マリオ・ファリア

あらゆるデータとアナリティクスのプログラムにおける最大の課題は、「データ」「その利用方法」「データ・ガバナンス」「ビジネス成果の向上」の間の結び付きをビジネス・リーダーに実証することである。本セッションでは、このために必要なスキルと実行力を得るために利用できる多様なツール、テンプレート、ツールキットを紹介する。

25A 6月15日(金) 15:45-16:30 (45min)

デジタル時代に対応したバイモーダルIT組織
～ IT部門の変革をどう進めるか～

バイス プレジデント 松本 良之

デジタル時代となり、IT部門では新しい要望に対応する組織変革の必要が生じてきている。従来のシステム開発や運用に加えて、ビジネスのデジタル化への迅速な対応を行うべく、ガートナーは、2つのモードを持つバイモーダルIT組織を提言している。本セッションでは、バイモーダルIT組織の概要、企業での取り組み状況、そして今後の方向性について説明する。


27A 6月15日(金) 17:30-18:15 (45min)

State of Sessions

BIとアナリティクスの動向:洞察の自動生成へ

リサーチ ディレクター カーリー・アイディーン


BIとアナリティクスのプラットフォームは持続的に進化し、より幅広いユーザーに対して、より簡単に自動化されたセルフサービスと共に、より洗練されたアナリティクスをもたらしている。自然言語処理から拡張データ・ディスカバリへ、そしてデータ・ハーモナイゼーションから予測モデルの自動生成へ。本セッションでは、BI/アナリティクス・プラットフォームがどのように進化し、どのようにビジネスに影響を与え得るかについて解説する。

11B 6月14日(木) 12:30-13:15(45min) 

State of Sessions

データ管理の動向: データの収集と接続のバランスを取る
バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト **マーク・ベイヤー**


データはデジタル・ビジネス・プラットフォームの中心であるが、モノ、ITシステム、顧客、エコシステムといったあらゆる場所に散在する。企業は、散在するデータに柔軟かつ俊敏にアクセスして理解し、管理し、信頼できるようにしなければならない。収集可能なデータを全部収集するというやり方は、明らかに不可能になりつつある。つまり、データの収集と接続のバランスを取ることが、既存のデータ管理の刷新に向けた道なのである。

13B 6月14日(木) 14:30-15:15(45min) 

拡張アナリティクス: 知っておきたい次世代アナリティクスとBIプラットフォームの重要なトレンド

リサーチ ディレクター **カーリー・アイディーン**


拡張アナリティクス は、データとアナリティクスの市場を根本から変える大きな潮流となる。これは、高度なアナリティクスから洞察を自動生成し、全従業員のインテリジェンスを強化する。本セッションでは、拡張アナリティクスの影響、基盤テクノロジーのほか、この潮流にどう備えるのかについて解説する。

15B 6月14日(木) 16:30-17:15(45min) 

データ管理: クラウドへの取り組みと関連テクノロジーのもたらすコストと影響

リサーチ ディレクター **リック・グリーンウォルド**


本セッションでは、クラウドにおけるDBMS市場の現状を解説する。
 ・最適なユースケースは何か
 ・デプロイ方法による違いは何か
 ・価格モデルはどのように変化しているか。また、TCOにどう影響するか
 ・鍵となるクラウド・サービス・プロバイダーおよびクラウドISVはどこか

22B 6月15日(金) 11:30-12:15(45min) 

データ統合戦略を見直してデータの混乱状態に終止符を打つ

リサーチ ディレクター **リック・グリーンウォルド**


デジタル化によってリアルタイムのデータ・フローが急増し、多数のプラットフォームを横断するのに伴って、データ統合の課題は困難を極めるようになっている。ビジネスが求める速さでデータを活用するためには、広範囲にわたる統合の需要（ほぼアナログの新しいペルソナとの統合、仮想化の程度／遅延／粒度が混在したデータ・デリバリの統合、人工知能／データ・ハブ戦略との統合）に対処し、柔軟性を高めることが必要である。

23B 6月15日(金) 13:30-14:15(45min) 

ガートナーの提唱するMDMの実装手法により、ビジネス価値を向上させる

主席アナリスト **サイモン・ジェームズ・ウォーカー**


MDMを成功裏に実装する企業が増えるにつれ、ガートナーの提唱するMDMの実装手法を使ったベスト・プラクティスが明らかになりつつある。本セッションでは、顧客や製品マスタのための一般的なロードマップのほか、これが新規と既存のMDMの取り組みにもたらす価値について解説する。

25B 6月15日(金) 15:45-16:30(45min) 

アナリティクスのためのデータ管理ソリューション: データウェアハウスの先を行く

リサーチ ディレクター **リック・グリーンウォルド**


従来型のデータウェアハウスでもアナリティクスの基礎となり、基盤であり続けることはできる。しかし、新しい種類のデータの扱いやユースケースを求める声は増え続けており、データウェアハウスのアーキテクチャも、分散型ソリューションと集中型ソリューションの両方で、こうした声に応えられるように進化する必要がある。そのためには、論理データウェアハウスのように、高度なアーキテクチャが役に立つ。

27B 6月15日(金) 17:30-18:15(45min) 

機会と将来性: MLとAIをMDMに適用する

主席アナリスト **サイモン・ジェームズ・ウォーカー**


機械学習 (ML) と人工知能 (AI) は、これらをインテリジェントに活用できる限りにおいて、大きな利益をもたらすとされている。MDMにおいて、MLとAIを適用できる可能性のある要素は何か。企業にとってどのような利益があるか。パッケージ化されたMDMソリューションにおけるML/AIのデリバリとはどのようなものか。本セッションでは、MDMにMLとAIを適用する際の機会と将来性を述べる。

11C 6月14日(木) 12:30-13:15(45min) 

エンド・ツー・エンドの「モノ」のデータ: IoTにおける成功の鍵

主席アナリスト **サイモン・ジェームズ・ウォーカー**


IoTのメリットを、エンドユーザーとベンダーの双方にとって最大化するには、分散型IoTアーキテクチャ全体に及びエンド・ツー・エンドでのマスタ・データ管理が必要になる。つまり、IoTの実装を成功させるには、データ統合以上の作業が必要になる。分散型IoTデータ・アーキテクチャとは何か。セマンティックの一貫性が必要な理由とは何か。市場には、このメリットを示すどのような実例があるか。

13C 6月14日(木) 14:30-15:15(45min) 

企業のデータとアナリティクスにとって、IoTは何を意味するのか

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト **テッド・フリードマン**


ビッグ・データは大規模かつ複雑で素早く変化するものだと考えられている。企業の視界に入らない何十億台ものデバイスが莫大な数のイベントを生み出しているが、これが企業のデータ取り込み／保存／処理能力にどれほどの負荷を与えるかを考えてほしい。デジタル・ビジネスとIoTは、イノベーション、新たなビジネスモデル、高度なアナリティクスに大きな希望をもたらすが、ではIoTが新しいデータとアナリティクスにもたらす課題とはどのようなものか。IoTの取り組みを成功させるために、データとアナリティクスのリーダーは何をする必要があるだろうか。

15C 6月14日(木) 16:30-17:15(45min) 

BI近代化実現のポイント

マネージング バイス プレジデント **堀内 秀明**

BIツールはスイート化やWebアーキテクチャの採用を通じて成熟し、大企業のほとんどが採用するに至った。しかしながら、当初期待したおりの成果を得られたという企業は少数派であることに加え、ビジュアライゼーションを強化した新たな製品が市場で注目されることから、BI環境の見直しを検討している企業も多い。本セッションでは、BI環境を近代化する上で注意すべきポイントについて解説する。


22C 6月15日(金) 11:30-12:15(45min) 

State of Sessions

データとアナリティクスの役割と組織の今～コントロールからコラボレーションへ～

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト **ダグラス・レイニー**


データとアナリティクスの分野ではこの数年間、新しい役割が登場している。また、既存の役割においても、新たなスキルとコンピテンシが必要とされている。本セッションでは、デジタル・ビジネスに備えるべきデータとアナリティクス分野の主要な役割と責任に焦点を合わせ、それによって組織モデルがどのような影響を受けるかを解説する。

23C 6月15日(金) 13:30-14:15(45min) 

データ・ハブ戦略の導入: 盲目的なデータ統合をやめてガバナンスを取り入れよ

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト **テッド・フリードマン**


企業は今、MDM、アプリケーション・データ管理、情報スチュワードシップ、情報ガバナンス、アナリティクスといったあらゆる領域にわたってサイロ化していた個別プログラムのデータをつなぎ始めている。本セッションでは、データ・ハブ戦略の概要のほか、本戦略を導入してデータとアナリティクスの投資効果を最大化し、生産性を高める方法を解説する。

25C 6月15日(金) 15:45-16:30(45min) 

データ管理に圧倒されないために: メタデータ管理に習熟する

バイス プレジデント 兼 最上級アナリスト **マーク・ベイヤー**

データとアナリティクスのリーダーは、データが資産でありデジタル・ビジネス変革の中心であることを理解している。しかし、「データへの柔軟で俊敏なアクセス、理解、管理、信頼」を効果的に行うことには四苦八苦している。さらに言えば、あらゆる場所に存在するデータに直接アクセスするユーザーが急増し、コンプライアンスの要請も厳しくなりつつあるという現実、データとアナリティクスのリーダーが圧倒されないとも限らない。卓越したメタデータ管理のスキルをコア・コンピテンシにしなければならない。

27C 6月15日(金) 17:30-18:15(45min) 

データ活用で成功を収める企業は何が違うのか

主席アナリスト **一志 達也**

データを分析し、何かを見つけたり予測したりして、ビジネスに役立てている企業の事例は多い。「自社も同様に」と考えてはみるものの、ゴールはどこに定めればよいのか、また、その道のりはどのようなものなのか。人が先か組織が先か、インフラやツールが先かデータが先か。本セッションでは、2日間の本サミットで議論された内容を統括し、企業がデータ活用を成功させるためのロードマップと、そこに必要となる要素を明らかにする。